

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）における 令和 8 年度新規採択研究課題の決定

～「科学技術外交」の強化に向けた政府開発援助（ODA）との連携による国際共同研究～

JST（理事長 橋本 和仁）は、国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS：Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development、サトレップス）における令和 8 年度新規採択研究課題を条件付き^{注1)}にて決定しました（別紙）。

SATREPS は、科学技術と外交を連携し、相互に発展させる「科学技術外交」の強化の一環として、文部科学省、外務省の支援の下、JST、日本医療研究開発機構（AMED）および国際協力機構（JICA）が連携して実施するプログラムです。開発途上国のニーズを基に、地球規模課題を対象とし、社会実装の構想を持つ国際共同研究を政府開発援助（ODA）と連携して推進します。

今回、JST の所掌分野である環境・エネルギー分野^{注2)}、生物資源分野、防災分野について 2025 年 8 月 19 日（火）から 10 月 20 日（月）まで研究提案を募集したところ、合計 90 件の応募がありました。募集締切後に、ODA の視点からの評価も含め、外部有識者による委員会が書類・面接選考を行い、下表の通り 3 分野 4 領域について合計 10 件の研究課題を決定しました。現在までに SATREPS で採択した国は、合計 60 カ国（AMED 所掌分野含め 63 カ国）となります。

<募集の概要>

- ・ 研究期間：原則として 3～5 年
- ・ 研究経費（JST 予算）：
 - 1 研究課題当たり年間 3,500 万円程度（間接経費を含む）
 - （研究期間中の研究費総額は、5 年間計画であれば 1.75 億円以内）

<研究分野別・地域別 採択研究課題数>

研究分野	環境・エネルギー分野		生物資源分野	防災分野
研究領域	地球規模の環境課題の解決に資する研究	カーボンニュートラルの実現に向けた資源・エネルギーの持続可能な利用に資する研究	生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究	持続可能な社会を支える防災・減災に資する研究
応募件数	25 ^{※1}	19 ^{※1}	28	18
振り分け後	24 ^{※2}	20 ^{※2}		
採択件数	3	3	2	2

※1 提案書に記載された希望領域でカウント。

※2 環境からカーボンニュートラルへ 2 件移動、カーボンニュートラルから環境へ 1 件移動。

地域	アジア	アフリカ	中南米	その他 ^{※3}
応募件数	54	18	9	9
採択件数	5	4	1	0

※3 中東・欧州・大洋州の提案。

<研究代表者の所属機関別 研究課題の応募件数および採択件数>

所属機関	国立大学等 ^{※4}	公立大学	私立大学	国立研究開発法人・ 独立行政法人	国立研究所	その他
応募件数 ^{※5}	68	4	12	3	0	3
採択件数	8	0	1	1	0	0

※4 大学共同利用機関法人・国立高等専門学校を含む。

※5 応募時点の所属で記載。

事業、公募、採択課題概要等の詳細は以下ウェブサイトをご参照ください。

事業ウェブサイト：<https://www.jst.go.jp/global/index.html>

公募要領：<https://www.jst.go.jp/global/pdf/koubo2026.pdf>

採択研究課題概要等：https://www.jst.go.jp/global/pdf/kadai_2026.pdf

注1) 条件付き

今後、外務省による相手国政府との実施に係る国際約束の締結、それに続く JICA による相手国関係機関との実務協議を経た後、研究課題ごとに正式に共同研究を開始する。しかし、相手国関係機関との実務協議において、研究課題名・研究内容の変更、研究期間の短縮、および相手国情勢などにより合意に至らず、国際共同研究を開始できない可能性があるため、現時点では「条件付き」での採択としている。

注2) 環境・エネルギー分野

環境・エネルギー分野は、公募締切後に2つの研究領域（「地球規模の環境課題の解決に資する研究」または「カーボンニュートラルの実現に向けた資源・エネルギーの持続可能な利用に関する研究」）のいずれかに提案を振り分け、選考する。研究領域の振り分けは、原則として提案者の希望に基づいて行うが、提案書の内容によっては、提案者の希望とは異なる研究領域となる場合がある。

<関連リンク>

AMED プレスリリース（SATREPS 感染症分野 2026 年度新規採択研究課題の決定）

https://www.amed.go.jp/news/release_20260416.html

JICA プレスリリース（2026 年度「地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）」新規採択案件の決定について）

https://www.jica.go.jp/information/press/2026/20260416_11.html

<添付資料>

別紙：2026 年度 採択研究課題一覧

<お問い合わせ>

<事業に関すること>

科学技術振興機構 国際部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

小宮 泉 (コミヤ イズミ)

E-mail : global@jst. go. jp ※お問い合わせは電子メールでお願いします。

<報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

Tel : 03-5214-8404 Fax : 03-5214-8432

E-mail : jstkoho@jst. go. jp

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

2026 年度 採択研究課題一覧

		研究課題名（採択時） ◎：重点推進型	研究代表者	所属機関	相手国	主要相手国 研究機関	
1	環境 ・ エネルギー分野	環境 領域	NbS としての革新的なマン グローブ・ブルーカーボン 管理を通じた NDC 目標推進 プロジェクト	諏訪 錬平	国際農林 水産業研 究セン ター	インドネ シア共和 国	国立研究革新庁
2			最先端ゲノムサイエンスと コミュニティ主導型アク ションの融合に基づくビク トリア湖の在来種・外来種 を内包した総合資源管理	二階堂 雅人	東京科学 大学	タンザニ ア連合共 和国	タンザニア水産 研究所
3			◎ 農業利益と環境機能を最 適化する再生型農業システ ムの開発	ヌグセ・ハラ ガウエイン・ アイエフ	鳥取大学	エチオピ ア連邦民 主共和国	ハワサ大学
4	カー ボンニ ュート ラル領 域	Net-zero に向けた超塩基性 岩を利用した CO ₂ 鉱物固 定、水素生成、金属回収に 関する統合研究	岡本 敦	東北大学	モンゴル 国	モンゴル科学技 術大学	
5		フィリピンにおけるマイク ロ波ワイヤレス給電技術の 展開	篠原 真毅	京都大学	フィリピン共和国	フィリピン大学	
6		AI 駆動型モビリティ・プ ラットフォームを用いた カーボンニュートラルで健 康的な都市に関するプロ ジェクト	藤原 章正	広島大学	ベトナム 社会主義 共和国	ハノイ工科大学	
7	生物資源分野	繁殖障害性原虫病の疫学的 監視と制御を通じた家畜生 産性向上	西川 義文	帯広畜産 大学	アルゼン チン共和 国	ラ・プラタ国立 大学	
8		◎ 先進的育種素材と低投入 栽培技術による持続可能な 稲作生産システムの開発	榎原 大悟	名古屋大 学	ケニア共 和国	ケニア農畜産業 研究機構	
9	防災分野	地域材料と多様な社会的ア プローチを統合した低層住 宅のための AI 活用地震リス ク低減プロジェクト	齊藤 大樹	豊橋技術 科学大学	モロッコ 王国	モハンマディア 工科大学／モハ メッド5世大学	
10		持続可能な観光産業を支え る水災害適応策の共創開発	手計 太一	中央大学	タイ王国	カセサート大学	

◎STI for SDGs を推進する上で日本の外交政策上重要な対象地域・研究テーマを示し、研究提案の募集・採択をする「重点推進型 SATREPS 課題」を設けています。2026 年度の対象地域・研究テーマ「アフリカ地域及び中南米地域において、気候変動や環境に係る課題への貢献が見込まれるもの」
※研究課題の並びは、研究代表者名の五十音順です。また、研究課題名は採択時のものであり、相手国関係機関との協議などの結果、変わることがあります。